

保護者の皆様

東京都立青山高等学校長  
小澤 哲郎

### 山口県周南市のいじめ自殺事件について

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。

報道等によりご承知のとおり、誠に痛ましい事件がありました。学校での生徒によるいじめが自殺の原因とされただけでなく、子供を守るべき立場の教員によるいじめの行為があったことが、同事件の検証委員会により認定されました。

平成30年12月25日付30青山高第1285号「第2学期の学校生活や友人関係に関する調査等の結果について」により、体罰調査の結果をご報告するとともに、教員の発言によって不快な思いをした生徒がいたことを重く受け止め、12月20日の職員会議において教員への注意喚起を行ったところですが、今回の報道を受け、本日、改めて教職員に対して、一人一人の生徒を尊重し、適切な生徒指導を行うよう注意喚起を行いました。

学校教育の充実には、保護者の皆様のご理解とご協力が欠かせません。ご不明なことやご疑念が生じることがありましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

別件ですが、授業評価、生徒・保護者による学校評価、生徒実態調査の結果については、すでに学校ホームページに公開しましたので、ご覧くださるようお願いいたします。

### 【参考】

NHK NEWS WEB（平成31年2月7日）抜粋

（山口県いじめ調査検証委員会の）報告書では学校側の対応にも触れ部活の顧問が男子生徒に雑用を押しつけたり、試験中に「ちゃんとやったんか」などと話しかけたりしたほか、全校生徒の前で名前を呼ぶなど「いじめに類する行為があった」と認定した上で「教職員による十分な配慮と適切な対応があれば自殺を防ぐことが出来た可能性があった」と指摘しています。

プライムニュース イブニング（平成31年2月6日）抜粋

山口県いじめ調査検証委員会 堂野佐俊委員長

検証委員会が、男子生徒への教師による“いじめに類する行為”と認定したのは、次の5項目だ。

- (1) 全校生徒の前で名前を呼ぶ
- (2) 雑用の押し付け
- (3) 試験中の話しかけ
- (4) 対応に困るようなことを言う
- (5) 不必要に名前を連呼

【担 当】

副校長 瀧本 秀人  
電話 03-3404-7801